



# 2008NTTトライアスロンジャパンカップ第9戦長良川大会速報

## ジュニア選手権Bは女子・山本、男子・椿が優勝

### ジュニア選手権A(中学生)は、女子は野田、男子は山崎が優勝

8月3日(日)、岐阜県海津市の国営木曾三川公園特設コースで、2008NTTトライアスロンジャパンカップ第9戦・第10回日本ジュニアトライアスロン選手権長良川大会が開催された。

競技距離はA(中学生)が12.875km(スイム375m/バイク10km/ラン2.5km)のスーパープリントディスタンス、B(20歳未満)が25.75km(スイム750m/バイク20km/ラン10km)のスプリントディスタンスで行われた。

午前8時にスタートしたA男子は、スイムで谷口白羽(豊明市立沓掛中学)がトップに立つと、バイクでもリードを保ってランへと移った。ここで、スイムで出遅れた山崎太陽(三好SATトライアスロン倶楽部)がバイクからランにかけて追い上げ、32分39秒のタイムで初優勝を飾った。2位は前田凌輔(ベルリオアスリートクラブ)、3位は谷口。

午前8時2分スタートのA女子は、スイムト



長良川の国際規格ポートコースを泳ぐスイム



スイムを上がり、バイクランジションへ急ぐA男子の選手たち

野田 純那  
ウイングスTC



昨年のこの大会は3位で悔しかったので優勝したかった。スイムは3位で上がったので良かったが、苦手のバイクで順位を下げてしまった。ランに入ってから、折り返しの手前からトップの選手に近づいた。そこからスパートをかけて追い抜くことができた。

山崎 太陽  
三好SATトライアスロン倶楽部



苦手のスイムで20位と出遅れたが、得意のバイクで2位まで追い上げることができた。バイクとランは自信があったので、スイムの遅れをバイクで取り戻して勝つことができた。昨年は、5位だったので、今回の優勝はとてうれしい。今後も、スイムを練習して、もっといいレースがしたい。

JTU Official Sponsors & Official Partners



トップとなったのが佐藤志帆(会津若松市立第六中学)。バイクまでは佐藤が先頭で通過。ランに入るとランラップ1位のタイムで走った野田純那(ウイングスTC)が追い上げて、35分21秒で優勝した。2位は三浦彩夏(ティームウラ・ガレージワークス)、3位は加後美咲(チームケンズ京都)だった。

午前8時20分スタートのB男子は、遠藤樹(国土館大学)がスイムをトップフィニッシュ。バイクでは、宇都宮涼太(ウイングスTC)、細田貴茂(チームブレイブ)、大谷真史(チームブレイブ)と逃げ、終盤で椿浩平(チームブレイブ)と久保埜一輝(チームブレイブ)が追いついた。ランでは、椿が満を持してトップに立つと1時間14秒で優勝し、ジュニア選手権2連覇となった。2位は細田、3位は大谷が入った。

午前9時10分スタートとなったB女子は、スイムを今本衣真(駒澤大学付属岩見沢高校)がトップで上がった。バイクでは、高橋侑子(東京ヴェルディ)、山本奈央(愛知県立西尾高校)、知花果林(チームゴーヤー)、福田慶(日本大学豊山女子高校)が今本を吸収して第1集団となった。ランでは高橋が先行したが、山本が粘りの走りを展開して終盤に逆転し、1時間8分34秒のタイムで優勝した。2位は高橋、3位は知花だった。

JOCジュニアオリンピックカップは、山本と椿が獲得した。

レースの様子は「web JTU Magazine」フォトギャラリーでご覧になれます。



(上)B男子のバイクはエリートなみの迫力

(下)トップを狙ってバイクからランへのトランジションにはいるB女子

**山本 奈央**

愛知県立西尾高校



ジュニアBでは優勝したことがなかったのうれしい。昨年の世界選手権ハンブルク大会以来、良い成績がだせなかったの、とてもいい結果。バイクでは5名で逃げたが、ランに出てから高橋選手を追いかけた。最後の折り返しを過ぎてトップに立ったが、そのあとのことは、あまり覚えていない。

**椿 浩平**

チームブレイブ



今回は、自分に勝ってレースにも勝つことを目標にしてきた。最後のランで追い上げることができて、いいレースになった。スイムで遅れたが、バイクで久保埜選手と一緒に追いついた。ランでは宇都宮選手が先行していたが、ランには自信があったので、落ち着いていけば勝てると思って走った。

JTU Official Sponsors & Official Partners

